

施策評価シート（評価対象年度：令和6年度）

基本政策	1	子育て・教育・学び
主要施策名	4	郷土の歴史・文化
5年後の まちの姿	○歴史・文化に触れることを通じて、多くの市民が郷土への関心や愛着を深めています。 ○歴史・文化に関心を持つ市民による自主的な取組が生涯学習活動や地域の活性化につながっています。	
施策展開の 基本的な考え方	行政は、まちの財産である文化財等の保存・継承に責任を持つとともに、その実現のために文化財等の魅力を伝え、その活用を図ります。 市民等は、身近なまちの歴史や文化に関心を持ち、その魅力について周りに積極的に伝えることに努めます。	
実現に向けた 取組	①文化財の調査と保護 ②伝統文化の保存と継承 ③歴史・文化資源を生かした地域の活性化	
施策担当課	生涯学習課	
施策関係課・係	-	

I 施策の実施状況

1 施策全体の事業費

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費（千円）	40,232	54,156	108,567		
事務事業数	9	11	11		
うち、事務事業評価対象	9	9	9		

2 成果指標の達成状況

指標	単位	基準値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和8年度 最終目標
国県市指定文化財数〔累計〕	件	100	100	100	100			102
伝統芸能等保護活動団体数	団体	10	10	10	10			10
文化財施設（奥山荘歴史館、黒川郷土文化伝習館、シンクルトン記念館、胎内市美術館および桃崎浜文化財収蔵庫）の入館者数〔年間〕	人	11,564	8,358	10,181	9,171			12,000
成果指標による 現状分析	国県市指定文化財数〔累計〕については、指定数は昨年度と同数であるが、城の山古墳からの出土品の国指定などについて、県・国と協議して進めていきたい。 伝統芸能等保護活動団体数については、各団体とも後継者育成に努め、持続的な活動を行っている。 文化財施設（奥山荘歴史館、黒川郷土文化伝習館、シンクルトン記念館、胎内市美術館及び桃崎浜文化財収蔵庫）の入館者数〔年間〕については、コロナ禍で入場制限をしていたイベントを通常どおり再開し、学校等の教育機関に積極的にPRしたが、入館者数は若干減少した。							

### 3 施策の進捗状況

達成度	○ 概ね順調
評価の理由	◇文化財の調査と保護、伝統文化の保存と継承、歴史・文化資源を活かした地域の活性化について計画的に事業を行った。また、文化財保存活用地域計画策定に当たり、住民アンケートを実施したほか、協議会を開催し成果を得た。国県市指定文化財数については、目標の98%以上を達成し、伝統芸能等保護活動団体数についても目標値の100%を達成・維持している。文化財施設の入込数については、増加しており、特に胎内市美術館や黒川郷土文化伝習館については、郷土の歴史文化を紹介する企画展を開催し、令和5年度より入館者数が1,010人(9.9%)減少している。

### 4 取組の状況と今後の方向性

#### ① 文化財の調査と保護

施策の内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>・貴重な歴史・文化資源が失われないよう、遺跡の調査・発掘、郷土資料の収集・保管、収集済の文化財の保存・活用を計画的に行います。</li> <li>・分散して立地している複数の文化財関連施設で巡回展を開くなど、市民が多くの歴史・文化に触れ、学ぶことができる機会を提供します。</li> </ul>
これまでの主な取組と実績
<p>◇遺跡の調査・発掘については、関連機関と協議して計画どおりに実施した。郷土資料の収集についても積極的に対応した。歴史文化資源の保管、収集済の文化財の保存・活用については美術館や資料館での展示公開を計画的に行った。</p> <p>◇文化財関連施設で歴史文化を紹介する展示会を開催するなど、市民が多くの歴史・文化に触れ、学ぶことができる機会を提供した。</p>
主な課題と今後の対応
<p>◇遺跡の調査・発掘については専門職員の不足が課題の一つといえる。郷土資料の収集、歴史文化資源の保管、収集済の文化財の保存・活用については継続して行い、美術館、資料館での展示公開を計画的に進める必要がある。</p> <p>◇文化財関連施設で歴史文化を紹介する展示会を例年開催し、市民が多くの歴史・文化に触れ、学ぶことができる機会を今後も提供していく。</p>

#### ② 伝統文化の保存と継承

施策の内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習や地域活性化の取組と連携して、各集落に伝わる神楽舞や獅子舞等の伝統芸能や祭り等の行事を継承する団体等への新たな支援策を検討します。</li> <li>・学校との連携により、総合学習やふるさと体験学習の中で、子どもが地域の歴史や伝統芸能に触れる機会を増やします。</li> </ul>
これまでの主な取組と実績
<p>◇各集落に伝わる神楽舞や獅子舞等の伝統芸能や祭りなどの行事を継承する団体にアンケート調査を実施し、支援を検討して実施した。</p> <p>◇学校との連携により、総合学習やふるさと体験学習の中で、子どもたちが地域の歴史や伝統芸能に触れる機会を提供した。また、小学校に伝統文化を伝える出前授業を実施した。</p>
主な課題と今後の対応
<p>◇後継者不足、道具の維持管理などが課題といえ、地域全体で保存活用する仕組みを検討する。</p> <p>◇学校側が児童生徒に学ばせたいこと、伝統芸能団体が児童生徒に伝えたいことを相互理解し、持続可能な継承事業を実施していく。</p>

#### ③ 歴史・文化資源を生かした地域の活性化

施策の内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財シンポジウムの開催や説明板の設置、既存の史跡公園等施設の積極活用やICTを活用した文化財に関する多角的な情報発信に取り組みます。</li> <li>・寺・神社を中心とした祭礼等の営み、周りの市街地景観といった周辺環境も含めた文化財を取り巻く歴史的風致の維持等に取り組みます。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の活性化に取り組む市民団体の支援や地域の魅力発見やモデルルートの作成、語り部育成講座の開設等を通じて、その土地の物語を掘り起こし、発信する取組を支援します。</li> </ul>
<p>これまでの主な取組と実績</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>◇歴史講座の開催、文化財説明板の新設、既存の史跡公園等施設を活用したイベントを実施し、情報発信に取り組んだ。</li> <li>◇寺・神社を中心とした祭礼や周りの市街地景観を含む文化財を取り巻く歴史的風致の維持等に取り組むため、文化財保持・活用関係者にアンケート調査を実施した。</li> <li>◇地域の活性化に取り組む市民団体の支援を行った。地域の魅力を発見するモデルルートを作成した。また、昔語りの公開講座を通じて、その土地の物語を掘り起こし発信した。</li> </ul>
<p>主な課題と今後の対応</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>◇歴史講座の開催、文化財説明板の新設、既存の史跡公園等施設を活用したイベントを計画的に実施し、更なる情報発信に取り組んでいく。そのためには市民ボランティアの育成が課題である。</li> <li>◇文化財を取り巻く歴史的風致の維持等に取り組むため、文化財保存活用地域計画を策定し、関係者と協議して事業を進めていく。</li> <li>◇地域の活性化に取り組む市民団体との連携を強化し、さらなる地域の魅力を発見するモデルルートを作成していく。また、聞き取り調査により、その土地の物語を掘り起こし発信していく。</li> </ul>

## 5 施策の今後の方針

<p>施策方針</p>	<p>○ 維持</p>
<p>施策方針に関する説明</p>	<p>◇貴重な歴史・文化資源が失われないよう、遺跡の調査・発掘、郷土資料の収集・保管、収集済の文化財の保存・活用を計画的に行う。分散して立地する複数の文化財関連施設で巡回展を開くなど、市民が多くの歴史や文化に触れ、学ぶ機会を提供する。まちの財産である文化財等の保存・継承に責任を持ち、その実現のために文化財等の魅力を伝え、活用を図る。</p>

## II 施策を構成する事業等

事業 コード	事務事業名	R6 事業費	R7 当初予算額	達成度	今後の 方向性	担当課
140110	文化財保護事業	3,020	4,011	◎	③	生涯学習課
140111	史跡整備事業	5,810	15,813	◎	③	生涯学習課
140112	遺跡発掘調査事業	12,339	17,226	◎	③	生涯学習課
140310	中条まつり事業	7,125	7,917	○	③	商工観光課
140320	郷土文化伝習館運営事業	2,663	3,611	△	③	生涯学習課
140321	郷土文化保存伝習施設（シンクルトン記念館）運営事業	986	1,587	◎	③	生涯学習課
140322	史跡等総合活用事業	4,641	6,208	×	②	生涯学習課
140323	奥山荘歴史の広場等運営事業	2,824	4,355	○	③	生涯学習課
140324	美術館運営事業	13,273	17,268	○	③	生涯学習課

事務事業評価シート（評価対象年度：令和6年度事業）

事業コード	140110		担当課	生涯学習課	担当係	文化・文化財係	担当者			
事務事業名	文化財保護事業			事業年度	令和6年度		会計区分	一般会計		
基本政策	1	子育て・教育・学び		事業コード	大	14	郷土の歴史・文化	予算科目	10	教育費
主要施策	4	郷土の歴史・文化			中	01	文化財の調査と保護		06	社会教育費
					小	10	文化財保護事業		03	文化財保護費
事務区分	法定受託事務		自治事務	根拠法令	文化財保護法					
	法令による義務付け		努力義務+任意							
関連例規				関連計画						

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	文化財を適正に管理等するために、文化財保護審議会等の開催や指定団体に補助金を交付する。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化財保護審議会等</li> <li>文化財保存活用地域計画の策定</li> <li>文化財補助金の交付</li> </ul>
実施方法	市が直接実施+補助・負担

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	○	◎	◎		
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					

評価の理由、事業の課題、及び課題解決に向けた今後の取組については、達成度や今後の方向性等を踏まえ記載しています。

5 評価の理由（達成度が×又は2年連続で△以下の場合に記載）

達成度が×又は2年連続で△以下の場合に記載					
[Blank area for evaluation reasons]					

2 事業費の状況（令和6年度以前は実績値、令和7年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費（千円）	3,439	5,510	3,020	4,011	
単位コスト	算出方法				
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
実績					

3 指標値の状況

産出指標	名称	指定文化財の看板整備等	指定文化財の看板整備等	指定文化財の看板整備等	指定文化財の看板整備等	指定文化財の看板整備等
	目標	67件	67件	67件	67件	67件
	実績	65件	66件	67件		
成果指標	名称	指定文化財の看板整備等	指定文化財の看板整備等	指定文化財の看板整備等	指定文化財の看板整備等	指定文化財の看板整備等
	目標	1件	1件	1件	1件	1件
	実績	3件	2件	3件		
	目標比	300%	200%	300%		

6 事業の課題

文化財の周知が不足しており、維持管理、公開について、関係者と文化財保存活用計画に即して計画的に実施する必要がある。
---

7 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	②	③	③		
課題解決に向けた今後の取組					
文化財の維持管理、公開について、関係各位と文化財保存活用計画に即して協働で計画的に実施しながら保護を図っていく。					

8 二次評価委員会所見

[Blank area for secondary evaluation committee findings]					
--	--	--	--	--	--

今後の方向性					
成果の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
	削減	縮小	維持	拡大	
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和6年度事業）

事業コード	140111		担当課	生涯学習課	担当係	文化・文化財係	担当者			
事務事業名	史跡整備事業			事業年度	令和6年度		会計区分	一般会計		
基本政策	1	子育て・教育・学び		事業コード	大	14	郷土の歴史・文化	予算科目 款項 目	10	教育費
主要施策	4	郷土の歴史・文化			中	01	文化財の調査と保護		06	社会教育費
					小	11	史跡整備事業		03	文化財保護費
事務区分	法定受託事務		自治事務	根拠法令	文化財保護法					
	法令による義務付け		努力義務+任意							
関連例規				関連計画						

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	国史跡岡山山荘城館遺跡及び国史跡城の山古墳等の史跡整備に関するもの。
主な実施内容	・城の山古墳整備開始
実施方法	市が直接実施

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	◎	◎	◎		
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					

評価の理由、事業の課題、及び課題解決に向けた今後の取組については、達成度や今後の方向性等を踏まえ記載しています。

5 評価の理由（達成度が×又は2年連続で△以下の場合に記載）

[Blank area for evaluation reasons]					
-------------------------------------	--	--	--	--	--

2 事業費の状況（令和6年度以前は実績値、令和7年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費（千円）	865	4,994	5,810	15,813	
単位コスト	算出方法				
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度

3 指標値の状況

産出指標	名称	公有化面積	公有化面積	公有化面積	公有化面積	公有化面積
	目標	0㎡	0㎡	0㎡	2000㎡	2000㎡
	実績	0㎡	0㎡	1400㎡		
成果指標	名称	史跡整備終了地	史跡整備終了地	史跡整備終了地	史跡整備終了地	史跡整備終了地
	目標	6地点	6地点	6地点	6地点	6地点
	実績	6地点	6地点	6地点		
	目標比	100%	100%	100%		

6 事業の課題

社会の変化により、これまでの保存整備重視から活用重視への方向性が必要であり、史跡整備基本計画に即して計画的に実施する。

7 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	①	②	③		
課題解決に向けた今後の取組					
保存整備と活用を史跡整備基本計画に即して計画的に協働で実施することにより、史跡整備を推進する。					

8 二次評価委員会所見

[Blank area for secondary evaluation committee findings]					
--	--	--	--	--	--

今後の方向性					
成果の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
	削減	縮小	維持	拡大	
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和6年度事業）

事業コード	140112		担当課	生涯学習課	担当係	文化・文化財係	担当者			
事務事業名	遺跡発掘調査事業			事業年度	令和6年度		会計区分	一般会計		
基本政策	1	子育て・教育・学び		事業コード	大	14	郷土の歴史・文化	予算科目 款 項 目	10	教育費
主要施策	4	郷土の歴史・文化			中	01	文化財の調査と保護		06	社会教育費
					小	12	遺跡発掘調査事業		03	文化財保護費
事務区分	法定受託事務 ○		自治事務 ○		根拠法令	文化財保護法				
		法令による義務付け		義務+任意						
関連例規				関連計画						

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	緊急調査及び重要遺跡・史跡の発掘調査に関するもの。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種開発に伴う確認調査</li> <li>県営圃場整備に伴う本発掘調査</li> </ul>
実施方法	市が直接実施

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	◎	△	◎		
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					

評価の理由、事業の課題、及び課題解決に向けた今後の取組については、達成度や今後の方向性等を踏まえ記載しています。

5 評価の理由（達成度が×又は2年連続で△以下の場合に記載）

評価の理由（達成度が×又は2年連続で△以下の場合に記載）					

2 事業費の状況（令和6年度以前は実績値、令和7年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費（千円）	10,853	13,458	12,339	17,226	
単位コスト	算出方法				
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
実績					

3 指標値の状況

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	発掘調査数	発掘調査数	発掘調査数	発掘調査数	発掘調査数
	目標	3件	3件	2件	2件	2件
	実績	4件	3件	2件		
成果指標	名称	報告書作成数	報告書作成数	報告書作成数	報告書作成数	報告書作成数
	目標	2件	2件	2件	2件	2件
	実績	2件	1件	2件		
	目標比	100%	50%	100%		

6 事業の課題

事業の課題					

7 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③	②	③		

課題解決に向けた今後の取組					

8 二次評価委員会所見

二次評価委員会所見					

今後の方向性					
成果の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
削減	×	×	×	×	×
縮小	×	×	×	×	×
維持	×	×	×	×	×
拡大	×	×	×	×	×
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和6年度事業）

事業コード	140310		担当課	商工観光課	担当係	商工振興係	担当者	
事務事業名	中条まつり事業			事業年度	令和6年度		会計区分	一般会計
基本政策	1	子育て・教育・学び		事業コード	大	14	郷土の歴史・文化	
主要施策	4	郷土の歴史・文化			中	03	歴史・文化資源を生かした地域の活性化	
					小	10	中条まつり事業	
予算科目			款	07	商工費			
項目			目	01	商工費			
項目			目	02	商工業振興費			
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令			
	法令による義務付け		任意					
関連例規	中条まつり補助金交付要綱			関連計画				

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	伝統芸能である山車のあおりなどのイベントや露店の円滑な運営による祭りを通じた地域活性化を行う。
主な実施内容	・実行団体への補助金の交付
実施方法	市が直接実施+委託

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	×	○	○		
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					

評価の理由、事業の課題、及び課題解決に向けた今後の取組については、達成度や今後の方向性等を踏まえ記載しています。

5 評価の理由（達成度が×又は2年連続で△以下の場合に記載）

達成度が×又は2年連続で△以下の場合に記載					
（この欄は空欄です）					

2 事業費の状況（令和6年度以前は実績値、令和7年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費（千円）	824	7,354	7,125	7,917	
単位コスト	算出方法				
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	実績				

3 指標値の状況

産出指標	名称	露店出店数（3日間延）	露店出店数（3日間延）	露店出店者数（3日間延）	露店出店者数（3日間延）	露店出店者数（3日間延）
	目標	300件	300件	300件	300件	300件
	実績	0	245件	260件		
成果指標	名称	来場者数	来場者数	来場者数	来場者数	来場者数
	目標	30,000人	30,000人	30,000人	30,000人	30,000人
	実績	0	25,000人	27,000人		
	目標比	0.0%	83.3%	90%		

6 事業の課題

新潟県暴力団排除条例の改正により、今後は「露店等出店者の募集に関する要領」の策定が求められる見通しである。県内の祭事への対応も必要となるため、他市町村と連携しながら、今後の対応を検討していく必要がある。
---

7 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③	③	③		

課題解決に向けた今後の取組  
対応の方向性については周辺市町村と連絡を取りながら方針を定めていく。また、出店に際して、混乱が起きないように露店出店者とも調整を行う。

8 二次評価委員会所見

二次評価委員会所見					
（この欄は空欄です）					

今後の方向性					
成果の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
	削減	縮小	維持	拡大	
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和6年度事業）

事業コード	140320		担当課	生涯学習課	担当係	文化・文化財係	担当者		
事務事業名	郷土文化伝習館運営事業			事業年度	令和6年度		会計区分	一般会計	
基本政策	1	子育て・教育・学び		事業コード	大	14	郷土の歴史・文化	10	教育費
主要施策	4	郷土の歴史・文化			中	03	歴史・文化資源を生かした地域の活性化	06	社会教育費
					小	20	郷土文化伝習館運営事業	08	郷土文化伝習館費
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令	文化財保護法			
関連法規	黒川郷土文化伝習館設置条例			関連計画					

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	郷土文化伝習館の運営管理を行う。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>郷土文化伝習館の管理運営</li> <li>体験学習の実施</li> </ul>
実施方法	市が直接実施

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	○	○	△		

◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない

評価の理由、事業の課題、及び課題解決に向けた今後の取組については、達成度や今後の方向性等を踏まえ記載しています。

5 評価の理由（達成度が×又は2年連続で△以下の場合に記載）

評価の理由（達成度が×又は2年連続で△以下の場合に記載）					
[Blank area for evaluation reasons]					

2 事業費の状況（令和6年度以前は実績値、令和7年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費（千円）	2,484	2,518	2,663	3,611	
単位コスト	算出方法				
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度

3 指標値の状況

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	開館日数	開館日数	開館日数	開館日数	開館日数
	目標	210日	210日	210日	210日	210日
	実績	210日	210日	210日		
成果指標	名称	利用団体数	利用団体数	利用団体数	利用団体数	利用団体数
	目標	47団体	47団体	47団体	47団体	47団体
	実績	44団体	46団体	25団体		
	目標比	94%	97%	53.19%		

6 事業の課題

事業の課題					
[Blank area for business challenges]					

7 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③	③	③		

課題解決に向けた今後の取組					
[Blank area for future measures]					

8 二次評価委員会所見

二次評価委員会所見					
[Blank area for secondary evaluation committee findings]					

今後の方向性					
成果の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
削減	×	×	×	×	×
縮小	×	×	×	×	×
維持	×	×	×	×	×
拡大	×	×	×	×	×
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和6年度事業）

事業コード	140321		担当課	生涯学習課	担当係	文化・文化財係	担当者				
事務事業名	郷土文化保存伝習施設（シンクルトン記念館）運営事業			事業年度	令和6年度		会計区分	一般会計			
基本政策	1	子育て・教育・学び		事業コード	大	14	郷土の歴史・文化	予算科目	10	教育費	
主要施策	4	郷土の歴史・文化			中	03	歴史・文化資源を生かした地域の活性化		06	社会教育費	
					小	21	郷土文化保存伝習施設（シンクルトン記念館）運営事業		12	郷土文化保存伝習施設費（シンクルトン記念館）	
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令		文化財保護法				
関連例規	郷土文化保存伝習施設設置条例			関連計画							

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	シンクルトン記念館の運営管理を行う。
主な実施内容	・シンクルトン記念館の管理運営
実施方法	市が直接実施

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	◎	◎	◎		

◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない

評価の理由、事業の課題、及び課題解決に向けた今後の取組については、達成度や今後の方向性等を踏まえ記載しています。

2 事業費の状況（令和6年度以前は実績値、令和7年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費（千円）	1,032	1,245	986	1,587	
単位コスト	算出方法				
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度

5 評価の理由（達成度が×又は2年連続で△以下の場合に記載）

達成度が×又は2年連続で△以下の場合に記載					
（この欄は空欄です）					

3 指標値の状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	開館日数	開館日数	開館日数	開館日数
	目標	10日	10日	20日	20日
	実績	11日	17日	20日	
成果指標	名称	利用団体数	利用団体数	利用団体数	利用団体数
	目標	5団体	5団体	15団体	15団体
	実績	5団体	5団体	15団体	
	目標比	100%	100%	100%	

6 事業の課題

<p>予約時のみ開館とするため、来館希望者への対応が不十分といえる。石油関連企業とのタイアップなどを模索していく。</p>
---

7 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③	②	③		

課題解決に向けた今後の取組  
 学校などの教育機関や石油関連企業とタイアップし、ここでしか体験できないメニューを開発し、周知していく。

8 二次評価委員会所見

成果の方向性	拡充	◎	◎	◎	◎
	維持	◎	◎	◎	◎
	縮小	◎	◎	◎	◎
	休廃止	◎	◎	◎	◎
	削減	◎	◎	◎	◎
コスト投入の方向性	削減	維持	拡大		

事務事業評価シート（評価対象年度：令和6年度事業）

事業コード	140322		担当課	生涯学習課	担当係	文化・文化財係	担当者	
事務事業名	史跡等総合活用事業			事業年度	令和6年度		会計区分	一般会計
基本政策	1	子育て・教育・学び		事業コード	14	郷土の歴史・文化		予算科目
主要施策	4	郷土の歴史・文化			03	歴史・文化資源を生かした地域の活性化		
					22	史跡等総合活用事業		
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令			
	法令による義務付け		努力義務+任意		文化財保護法			
関連例規				関連計画				

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	史跡等の活用に関するイベント、学校への出前授業等を行う。
主な実施内容	・板額の宴イベント ・歴史講演会
実施方法	市が直接実施+委託

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	△	×	×		

◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない

評価の理由、事業の課題、及び課題解決に向けた今後の取組については、達成度や今後の方向性等を踏まえ記載しています。

5 評価の理由（達成度が×又は2年連続で△以下の場合に記載）

成果指標が達成できなかった理由は、豪雨により避難所が設置され、イベントが中止となったことが挙げられる。開催時期を検討する必要がある。

2 事業費の状況（令和6年度以前は実績値、令和7年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費（千円）	7,441	3,630	4,641	6,208	
単位コスト	算出方法				
	総事業費/イベント・講演会の参加人数				
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
実績	8,267円	3,945円	6,563円		

3 指標値の状況

産出指標	名称	イベント数	イベント数	イベント数	イベント数	イベント数
	目標	4回	4回	4回	4回	4回
	実績	3回	4回	1回		
成果指標	名称	イベント・講演会の参加人数	イベント・講演会の参加人数	イベント・講演会の参加人数	イベント・講演会の参加人数	イベント・講演会の参加人数
	目標	2,600人	2,600人	2,600人	2,600人	2,600人
	実績	900人	920人	1,000人		
	目標比	35%	35%	38.46%		

6 事業の課題

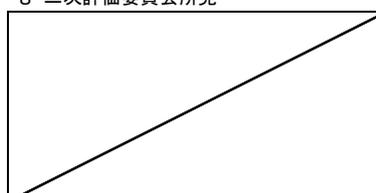
市民協働イベントとして史跡等の活用事業を実施しているが、参加者のニーズが多様化しているという課題、イベントが継続できるようにスタイルを検討するなどの課題がある。

7 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③	③	②		

課題解決に向けた今後の取組  
史跡についての歴史講演会、イベント等を実施し、積極的に市内外にPRしていく。文化財保存活用計画に即して協働で計画的に事業を進める。

8 二次評価委員会所見



		今後の方向性				
成果の方向性	拡充	×	④	②	①	
	維持	×	⑤	③	⑥	
	縮小	×	⑥	⑦	⑧	
	休廃止	⑦	⑧	⑨	⑩	
		削減	縮小	維持	拡大	
		コスト投入の方向性				

事務事業評価シート（評価対象年度：令和6年度事業）

事業コード	140323		担当課	生涯学習課	担当係	文化・文化財係	担当者			
事務事業名	奥山荘歴史の広場等運営事業			事業年度	令和6年度		会計区分	一般会計		
基本政策	1	子育て・教育・学び		事業コード	大	14	郷土の歴史・文化	予算科目 款 項 目	10	教育費
主要施策	4	郷土の歴史・文化			中	03	歴史・文化資源を生かした地域の活性化		06	社会教育費
					小	23	奥山荘歴史の広場等運営事業		03	文化財保護費
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令	文化財保護法				
関連例規	奥山荘歴史の広場条例			関連計画						

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	奥山荘歴史の広場等の運営管理を行う。
主な実施内容	・奥山荘歴史館の運営管理 ・江上館・坊城館の管理
実施方法	市が直接実施

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	○	◎	○		

◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない

評価の理由、事業の課題、及び課題解決に向けた今後の取組については、達成度や今後の方向性等を踏まえ記載しています。

5 評価の理由（達成度が×又は2年連続で△以下の場合に記載）

評価の理由（達成度が×又は2年連続で△以下の場合に記載）					

2 事業費の状況（令和6年度以前は実績値、令和7年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費（千円）	2,221	2,249	2,824	4,355	
単位コスト	算出方法				
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
実績					

3 指標値の状況

産出指標	名称	開館日数	開館日数	開館日数	開館日数	開館日数
	目標	81日	81日	81日	81日	81日
	実績	81日	81日	81日		
成果指標	名称	利用団体数	利用団体数	利用団体数	利用団体数	利用団体数
	目標	12団体	12団体	17団体	17団体	17団体
	実績	11団体	12団体	16団体		
	目標比	91%	100%	94.11%		

6 事業の課題

事業の課題					

7 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③	③	③		

課題解決に向けた今後の取組					

8 二次評価委員会所見

二次評価委員会所見					

今後の方向性					
成果の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
	削減	縮小	維持	拡大	
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和6年度事業）

事業コード	140324		担当課	生涯学習課	担当係	文化・文化財係	担当者				
事務事業名	美術館運営事業			事業年度	令和6年度		会計区分	一般会計			
基本政策	1	子育て・教育・学び		事業コード	大	14	郷土の歴史・文化	予算科目 款 項 目	10	教育費	
主要施策	4	郷土の歴史・文化			中	03	歴史・文化資源を生かした地域の活性化		06	社会教育費	
					小	24	美術館運営事業		14	美術館費	
事務区分	法定受託事務 ○		自治事務 ○		根拠法令	文化財保護法					
		法令による義務付け		義務+任意							
関連例規	胎内市美術館設置条例			関連計画							

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	市民が種々の芸術に触れる機会を創出するために設置した美術館の運営管理を行う。
主な実施内容	・美術館の管理運営 ・企画展の実施
実施方法	市が直接実施

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	○	○	○		

◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない

評価の理由、事業の課題、及び課題解決に向けた今後の取組については、達成度や今後の方向性等を踏まえ記載しています。

5 評価の理由（達成度が×又は2年連続で△以下の場合に記載）

[Blank area for evaluation reasons]					
-------------------------------------	--	--	--	--	--

2 事業費の状況（令和6年度以前は実績値、令和7年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費（千円）	11,073	11,131	13,273	17,268	
単位コスト	算出方法				
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
実績					

3 指標値の状況

産出指標	名称	開館日数	開館日数	開館日数	開館日数	開館日数
	目標	310日	310日	310日	310団体	310団体
	実績	310日	310日	310日		
成果指標	名称	利用団体数	利用団体数	利用団体数	利用団体数	利用団体数
	目標	52団体	52団体	70団体	70団体	70団体
	実績	48団体	49団体	67団体		
	目標比	92%	94%	95.71%		

6 事業の課題

[Blank area for business challenges]					
--------------------------------------	--	--	--	--	--

7 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③	③	③		

課題解決に向けた今後の取組					
[Blank area for future measures]					

8 二次評価委員会所見

[Blank area for secondary evaluation committee findings]					
--	--	--	--	--	--

今後の方向性					
成果の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
コスト投入の方向性	削減	×	×	×	×
	縮小	×	×	×	×
維持					
拡大					